

ほくさい 8

JA HOKUSAI INFORMATION

2024・NO.338

JAほくさい公式
Facebookページ
最新情報を共有します。



JAほくさい公式
LINEアカウント
友だち募集中!



だ
が
お
す
ま
い
な
い

目次

特集「総代の皆様からの主なご意見・ご要望を紹介いたします」	2
INFORMATION	4
営農ワンポイント	8
ニュースストーリー	9
はにゅう通信／俳句	12
表紙の人／長寿バンザイ／うちのペット自慢	13
西田税理士の税務相談	14
クロスワードパズル	15



 JA ほくさい

総代の皆様からの主なご意見・ご要望を紹介いたします

Q 定款の変更に関連して、女性理事の増員、女性理事の登用がありますが、このことによる効果について教えてください。

A 現在4名の女性理事がおり、内2名は専門委員会委員長と副委員長として活躍していただいています。

Q 昨年からご意見を頂くため女性理事との対話の機会を設ける等試みています。付随して女性部がない地区について、女性理事にもご協力いただき、令和6年から女性部を設立する地区もあります。また、次回役員改選期に目標の女性役員15%以上を達成する見込みです。

Q 役員年齢制限について、役員年齢制限を引き延ばしてもらいたい。人生1000年時代70才まで勤めている人がいるなかでは、役員に立候補することが難しい。

A 役員候補者推薦・選任内規により、選任する年の3

Q 月31日をもって満70歳以下の者と定めております。今後JAほくさい、JA越谷市、JA埼玉みずほ、JAさいかつ、JA南彩と合併に向け、合併時期、役員定数、役員年齢制限等の基本項目を決めていく中で、要望させていただきたいと考えています。

Q 5 JA合併に向けて、JAほくさいの職員と他JAの給与の調査をし、低い場合は、引き上げをお願いしたい。そのことが我々組合員のサービス提供に大いに繋がります。

Q 職員が本場に満足できる待遇ができればよいと思いますが、今までの歴史的な経過、経営実態を踏まえ現在の給与の水準があります。令和6年度については、一定のベースアップをします。合併に向けた調査を踏まえて、総合的に対処させていただきます。

Q 昨年支店が統合され、ATMが減るなど非常に不便になっていきます。JAそのものの統合について記載してありますが、それについて農家の皆様がどのような考えを持っており、それらをどのように把握しておられるか。それらをどのように意見を取り入れていくのかお聞かせください。

Q 総代会資料の中で、お知らせさせていただき、今後の話し合いの中で、逐次お知らせするようになります。また、組合員の皆様からご意見をいただき、尊重しながら進めてまいります。お話をする機会として12月頃に地区別の対話会を予定しております。また令和6年度から地区ごとに支店協力委員会を担っていただき、会議を開催していただく予定です。そのような中で組合員の疑問や不安にお答えしていく予定です。広域合併については、令和11年から14年で実現していく構想となり、説明を続けていきます。

Q 農林中央金庫について外債の運用で、大きな損失が見込まれ、JAが多額の増資を行うかと報道されているが、このあたりの見方やJAにあたる影響を教えてください。

Q 農林中央金庫の関係について、現在、経営改善に取り組み中です。JAに対する影響は、少ない予定です。令和6年度当JAは、予定どおりの収益を見込んでおります。農林中金についても、メガバンクと変わらぬ自己資本比率を示しております。また、農林中金から当JAへの増資要請も少なく、予定もございません。

Q 貯金が減っている理由を聞かせていただきたい。

Q 正組合員について減少傾向にあり、相続の中で流出がございします。また、低金利の中で組合員の資産の運用の方策として、新NISA、投資信託等を資産形成の選択肢として理解を得ながら、投資信託等の資産形成の取組みを進めさせていただきたいと考えております。利便性を高め、貯金伸長に努めてまいります。

Q 貯金残高について、2900億円台で推移し、いつ3000億円になるか期待していましたが、2888億円に下がってしまった、来年についても似たような計画ですが、どういふことかお聞きしたい。

Q 3000億円の目標はあり、地道な年金口座の獲得や農産物の販売等で3000億円に近づけていきたいと考えております。

Q 相続の際に、他行へ貯金に移ってしまう懸念がありますが、対策等はされていますか。

Q 各支店にマネー相続アドバイザーという専門職員を配置しております。相続発生時に葬儀費用から出資金・貯金・共済等、複数の職員で対応できるように教育し、相談対応させていただきます。

Q JA共済について行政指導を受けた組合もあったようですが、これらについてはどうお考えでしょうか。

Q 共済契約について報道がありました。監督指針があり、不必要な共済契約を締結させるような推進を行

わないように、実績として認めない等の対応を行っていきます。当組合において調査を行った経緯もありますが、不必要な共済契約はございませんでした。

高温登熟性に優れた中晩生の新品種「えみほころ」について、JAほくさいでの取扱いは、いつ頃からでしょうか。

令和8年度に供給を予定しております。本年度、種子の予約を回覧等で実施する予定です。

農研機構が暑さに強い品種を発表し、他県では取扱いを行っています。JAほくさいは扱わないのでしょうか。何故、彩ブランドにこだわるのか。異常気象にもない変えてもいいのではないのでしょうか。封筒に自己改革とあり、農業者の所得増大と記載されていますが、JAが率先して情報提供していかないと所得の増大にならないのではないのでしょうか。

様々な品種を取扱うことは可能ですが、JA米は県の奨励品種である事が必要となります。JAとしては、「えみほころ」の種子を前

倒しで供給できるように取組みを強化しています。行政や地元の種子生産者の協力を得て、期間を早め令和8年度に供給できる取り組みをさせていたいただきました。

埼玉の米どころとして自認されているはずで、TACを活用し、取組んでいくことが必要ではないでしょうか。所得の増大を考慮した場合、資材も高騰する中で農業者も利益を得たい。方策を考えていただきたいと思います。

当組合の中で全て取扱いの米を販売することは現実的でなく、この点については全農を通じた共同計算の取組みが基本です。埼玉県一の生産量を誇っており、責任ある立場として、全農を通じて埼玉県産米として取扱いをしています。また、当組合も一部直接販売に取組んでおり、手取りが多くなるよう努力をさせていたできます。

昨年彩のかがやきの規格外として8000円という仮払金となったが、現在16000円から20000円という報道がされています。概算金についてどのような見通しと

なっているかお知らせ願います。

昨年産は3000円の追加払いをさせていただきます。最終精算ではありません。今後最終精算を予定しています。今年度も概算金については、相場動向を勘案し、今後、価格設定をさせていただきます。

面積拡大は、田植えだけでは追い付かず乾田直播・湛水直播などの技術をJAが率先して技術確立を図っていたと昨々申し上げましたが、答えをお聞かせ願いたい。

当JAに北埼玉スマート農業研究会という会員約70名の組織があります。年間研修を2回行っており、会員の中で興味がある事案の共有を図っております。省力化で効率的な農業が広がるよう情報を共有していきます。

行田中部支店に営農担当者数を数人配置して営農とのタイアップをしてほしい。

ご不便をおかけしている点もあるかと思われます。ご意見を尊重しながら、ど

のような形がとれるか検討させていただきます。

購買事業について、肥料農業について同一品の他の事業者での販売価格について市場調査を行っています。またその最近の動向についてはどうでしょうか。

市場調査は、全農と共にを行っています。市況を慎重に精査し、適正価格維持に努めてまいります。

JAほくさいと行田市で出資した農業公社の設立を検討し、実施してもらいたい。

行田地区においては、JAの子会社で一部ですが、耕作放棄地の解消に努めており、徐々に拡大しています。公社の構想があればとのことですが現在そういったお話しは何っていません。当組合としては、子会社で拡大していく考えです。

北川辺地区の農地については受託しないのでしょうか。

加須市内についてはJAと加須市が共同出資している(株)が農業公社が受託す

るものと想定しています。基本的には(株)ほくさいグリーンアグリについては当面は羽生、その後行田、川里地区の農地拡大を想定しています。

子会社の事業について、羽生地区を中心に行っていると思いますが、ここ3年で大利根地区でも行う予定があるか聞きたい。

現在羽生地区を中心として、実施をしています。大利根地区については、JAと加須市の共同出資で(株)が農業公社がございまして、加須市内については、(株)が農業公社が担っておりまして。

子会社(株)ほくさいグリーンアグリ現在の実績はどうでしょうか。

令和5年度については、小麦8.3ha・水稻彩のかがやき10ha・作業受託19ha・カリフラワーとブロッコリー50haを作付けしました。併せて遊休農地再生事業について141haを受託しているといった実績となっております。

ほくさいの おほくせい

理事会から

6月27日の議案

- ① 令和6年度理事報酬の配分について
 - ② 行政庁へ提出する業務報告書について
 - ③ 遊休資産（旧埼玉志多見支店倉庫）の解体工事について
 - ④ 遊休資産（旧行田北支店、旧羽生中央支店、旧新郷支店、旧大桑支店）の解体工事について
 - ⑤ J Aバンク埼玉中期戦略に基づく信用事業戦略シート提出について
 - ⑥ 貸出金利基準の一部変更について
 - ⑦ 大口信用供与先の条件変更の承認について
 - ⑧ 大口信用供与の承認について
- 全議案承認されました。

税務法律相談

9月2日に加須中央支店で開催

J Aでは毎月、本店、行田中央支店、加須中央支店と会場を移して土地・建物や税務・法律に関する無料相談を行っています。

幅広い内容の相談に応じますので、お気軽にご相談ください。また、ご相談のある方は事前の予約をお願いいたします。

〈日時〉 9月2日(月)

午後1時30分より

※相談時間は1人30分です。

〈場所〉 J A加須中央支店

〈ご予約窓口〉

J A本店 資産管理課

☎048-563-3000

または各支店窓口へ



農業者年金に加入しませんか？



<加入要件>

国民年金第1号被保険者の方
(国民年金保険料納付免除者を除く)

20歳以上60歳未満の方
(国民年金の任意加入者は65歳未満)

年間60日以上
農業に従事されている方

注) 加入時に別途国民年金の付加保険料(月額400円)の納付が必要になります。

農業者年金の6つの特徴

- 特徴1 農業者なら広く加入できます!
- 特徴2 少子高齢化に強い「積立式・確定拠出型」年金です!
- 特徴3 保険料は2万円～6万7千円の範囲で自由に選べます! さらに、35歳未満であれば1万円からでも加入可能。
- 特徴4 「終身年金」で80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金があります!
- 特徴5 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象です!
- 特徴6 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助があります!



詳しくは、お近くのJA
または、農業委員会へ!
<https://www.nounen.go.jp>



J Aほくさい正職員を募集します

- 【業務内容】 総合職 (JA 業務全般)
- 【勤務地】 JA ほくさい管内 (行田市、鴻巣市 (旧川里町)、羽生市、加須市)
- 【募集人数】 3名程度
- 【応募資格】 ・ 来春卒業見込者 (専門・短大・大学) ・ 既卒者 (高卒以上)
- 【応募方法】 市販の履歴書 (写真あり) と下記必要書類を同封し、本店人事課へ郵送 (簡易書留) または持参ください。また、封筒の表に「応募書類在中」と朱書きください。
- 【必要書類】 ・ 来春卒業見込者: 卒業見込証明書、学業成績証明書 ・ 既卒者: 職務経歴書
- 【送付先】 〒348-8513 羽生市東 7-15-3 ほくさい農業協同組合 人事課
- 【試験日】 令和6年9月中旬を予定しております。
詳しくは HP または右記の二次元コードよりご確認ください。
- 【募集期間】 令和6年9月4日まで (消印有効)

その他採用についての詳細は
こちらからご確認ください。→



新米収穫祭

9/7(土)
▼
9/13(金)

いずれも9時30分より

令和6年産 とれたての
新米コシヒカリを
特別価格で販売いたします!

行田農産物直売所 ☎048 (556) 2203・水曜定休
羽生農産物直売所 ☎048 (563) 4609・水曜定休
加須農産物直売所 ☎0480 (61) 3044・火曜定休
騎西農産物直売所 ☎0480 (73) 6776・火曜定休
北川辺農産物直売所 ☎0280 (62) 3636・水曜定休

「JAほくさい」からのご案内

ご自宅の害虫・害獣対策!

お困りではありませんか?
ご自宅・作業場・加工所・倉庫などに…

- ・ハクビシンやアライグマの侵入被害
- ・ネズミやゴキブリの発生
- ・スズメバチなどの大きな巣が見つかった

など…お困りでないですか?
そんな時は、JA窓口には是非ご相談を!

ハチ類	6月～10月
アリ類	5月～10月
ゴキブリ	通年
ネズミ	通年
アライグマ・ハクビシン	通年

JAでは専門業者との業務提携により、害虫・害獣の防除サービスを行っています。

お問い合わせは最寄りの営経センターへ

行田営経センター	☎048-556-1172
川里営経センター	☎048-569-0003
羽生営経センター	☎048-563-1571
加須営経センター	☎0480-61-0906
騎西営経センター	☎0480-73-1122
北川辺営経センター	☎0280-62-2211
大利根営経センター	☎0480-53-9230

埼玉県農業大学校 学生募集

埼玉県農業大学校は、農業および関連産業の担い手を養成するため、栽培技術から経営・加工・流通まで一貫した教育を行う専修学校です。就農に役立つ各種資格・免許取得の機会もあります。

入学願書は農業大学校および同校ホームページ、加須農林振興センターで入手できます。

ホームページには見学会等の最新情報も掲載しておりますので、ぜひ御覧ください。
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921/>)



募集定員			出願期間・試験日・合格発表				
	学科	定員	入試区分	出願期間	試験日	合格発表	
2年課程	野菜	30人	推薦入試※1	R6.10.1～10.10		R6.10.29	R6.11.5
	水田複合	5人		一般入試	2年課程	R6.11.1～11.10	R6.11.28
	花植木	15人	1年課程		R6.12.10～12.20	R7.1.9	R7.1.16
	酪農	5人					
1年課程	短期農業	35人					

※1 高等学校の既卒者で農林振興センター所長の推薦を希望する場合は、令和6年9月11日までに加須農林振興センターに申し出てください。
※2 一般入試で定員が満たされない専攻については、追加募集を行う場合があります。

●オープン見学会・個別相談会
開催日時 9/1(日)・9/16(月)祝・10/6(日)・10/20(日)・11/4(月)祝・12/15(日)
・午前の部(見学会): 10時～12時(受付: 9時45分～)
・午後の部(個別相談会): 13時～15時30分
※各開催日の3日前までに農業大学校に電話、もしくは下記二次元コードからお申し込みください。

●お問い合わせ先
埼玉県農業大学校 入試・教務調整担当
(埼玉県熊谷市樋春2010) 電話: 048-501-7325 (直通)
加須農林振興センター農業支援部 電話: 0480-61-3911



頑張る

新規就農者を応援します!

埼玉県では、意欲ある新規就農希望者の円滑な就農を促進するため、以下の事業を新設しました。現在、各事業に対する希望者を募集しています。

1 明日の農業担い手育成塾運営拡大事業（農業法人研修コース）

初期投資額が高額な「主穀」「施設園芸」「果樹経営」の就農支援として、独立就農を希望する就農希望者を研修生として受け入れる農業法人*1に対し、下記の補助を行います。

区分	内容	補助対象経費・補助率
研修支援	研修に使用する種苗費や栽培管理支援システム利用料等の補助・指導謝金の助成	種苗費等費用：3/4 以内 指導謝金：10 万円 / 月
研修用農場の環境支援	研修用機械の導入及び施設の改修費用の補助*2	3/4 以内 (上限 750 万円)
研修用農地の整備支援	遊休農地の整備による研修用農地の確保	遊休農地の整備費用：10 万円 / 10a

*1 県に「登録法人」として登録された法人が対象

*2 原則、補助金で整備した機械や施設は独立時に引き継いで就農

2 第三者経営継承の推進支援事業

経営移譲を希望する農業者と継承希望者をマッチングし、継承時の負担軽減や継承後の後継者の経営を安定化するために、下記の補助を行います。

区分	内容	補助対象経費・補助率
お試し研修によるマッチング支援 (対象：経営移譲希望者)	経営移譲希望者と継承希望者とのマッチングに向けたお試し研修での指導謝金の助成	30 万円 (10 万円 / 月 × 3 か月)
継承時の環境整備支援 (対象：経営継承者)	継承した施設・機械の改修・修繕費用の補助	1/2 以内 (上限 65 万円)

3 女性の雇用就農促進事業

主な経営類型が「主穀」「露地野菜」「果樹」の農業法人を対象に、女性が働きやすい環境整備を行うために、衛生環境施設等の設置や女性従業員が農作業に使う機械・備品等の導入費用を補助します。

内容	補助率
衛生環境施設 (シャワー室、トイレ等)、更衣室、休憩所の設置、女性従業員が使用する小型農機具、アシストスーツ等の購入費用の補助	1/2 以内 (上限 300 万円)

※いずれの事業も、詳細は必ず県HPをご確認ください。

事業に関する
問合せ先

農業支援課 (新規参入支援担当)
加須農林振興センター (農業支援部)

☎ 048-830-4052

☎ 0480-61-3911

大切なあなたを守る 特定健康診査(特定健診)を受けましょう!

埼玉県加須保健所

特定健診は、内臓脂肪の蓄積に起因する高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の早期発見に役立つ大切な健診です。

生活習慣病は、自覚症状がなく進行し、重症化すると脳梗塞や心筋梗塞等を突然発症し重篤になることがあります。

40歳～74歳の方は、**医療機関に通院中の方も対象**になります。

年に一度は必ず特定健診を受け健康寿命を延ばしましょう。



〈各市の特定健康診査実施期間及び問合せ先〉

市名	実施期間	問合せ先	対象者等
行田市	令和6年6月1日～ 令和7年2月28日	行田市 健康課 048-556-1111 (内線 361～364)	国民健康保険に加入する40～74歳の方(受診券が送付されています)。*健診実施方法(個別・集団)や申込方法は、市によって異なります。送付されたパンフレットを御覧ください。
加須市	令和6年5月1日～ 令和6年12月21日	加須市 いきいき健康医療課 0480-62-1311	
羽生市	令和6年6月1日～ 令和7年2月28日	羽生市 国保年金課 048-561-1121 (内線 181～184・188)	
鴻巣市	令和6年6月1日～ 令和7年2月28日	鴻巣市 国保年金課 048-541-1321 (内線 2654)	

〈75歳以上の後期高齢者医療保険加入の方へ〉

「後期高齢者健診」を実施しています。詳しくは上記各課までお問い合わせください。

多様な食品を食べることが、健康長寿の秘訣です！
「量」は少なくてもOK！ 合言葉は「さあにぎやかにいただく」

毎日食べたい
10食品群

下の10食品群から1群で1点
毎日7点以上 が目標です！



「さあにぎやかにいただく」は、東京都健康長寿センター研究所が開発した食品摂取多様性スコアを構成する10の食品群の頭文字をとったもので、「ロコモチャレンジ」推進協議会が考案した合言葉です。

出典：東京都健康長寿医療センター研究所 健康長寿ガイドライン策定委員会

にんにく栽培のポイント

最近、にんにくの栽培に挑戦される方が増えてきていますが、にんにくの植付は9月頃から始まります。土壌改良を行い、栽培に適したほ場づくりを行いましょう。また、植付時期が遅れると生育期間が不足する場合がありますため、適期管理を心がけましょう。栽培開始前に、管理のポイントを確認し、美味しいにんにくを作りましょう！

【生理的特徴】

生育適温は15～20℃で暑さに弱く、寒さには強いですが、25℃を超えると生育が抑制されます。りん球の肥大を十分に進めるためには、生育途中で一定期間低温に当てる必要があります。

【施肥】

窒素過剰になると、葉茎の軟弱化により病害が発生しやすくなります。土壌診断等を活用し、土壌中の成分バランスに注意しましょう。また、春先の土壌乾燥による葉先枯れを防ぐために、堆肥などを用いて土づくりを行っておく必要があります。

【作業管理のポイント】

① 大きいりん片を植え付けると、複数の萌芽株の発生率が高くなります。早めに「除げつ」を行い、一本仕立てにすることで、生育を促します。

② 抽苔が始まったら、ほ場を確認し「とう」を摘み取ることで、球の肥大が良くなります。「とう」の摘み取りは、葉を傷めないために、球芽が葉鞘から完全に抜け出してから行います。

【病害虫防除】

早期発見、防除を心がけま

しょう。にんにくは葉茎に薬剤が付着しにくいいため、展着剤を用いて防除を行います。

● **葉枯病**
葉に赤紫色～黒色の楕円形病斑を生じ、やがて枯死します。菌が土壌中に残り、伝染源となります。

● さび病

葉に赤さび色の楕円形病斑を生じます。病原菌は葉についたまま越冬し、次年に胞子を飛散して伝染します。ネギやタマネギ畑から伝染するケースもあるため、近くに作付けしないようにします。

● 黒腐菌核病

葉が白っぽく色抜けしてきます。症状が進むと全体的にしおれ枯死します。地際部に黒色の菌核が見られることがあります。

● モザイク病

葉に濃淡のモザイク模様が発現し、ねじれと共に株が萎凋します。ネギアブラムシが

ウイルスを媒介します。

● **アブラムシ類**
春ごろから発生が見られます。大量に発生すると吸汁により株が弱るほか、ウイルス病を媒介することがあるため注意が必要です。

● ネギコガ

夏～秋にかけて発生します。幼虫が葉の内側に入り食害し、蛹の状態越冬し、翌年羽化して成虫となります。

加須農林振興センター
農業支援部
0480(61)3911

表1 にんにく病害虫防除薬剤例 (令和6年7月9日現在 JPP-NET 記載)

	作用機構分類コード	薬剤名	主な適用病害虫名	使用方法	使用時期	使用回数
殺虫剤	1B	トクチオン乳剤	ネギコガ アザミウマ類 チュウリップサビダニ	散布	収穫14日前まで	3回以内
	4A	モスピラン水溶剤	ネギコガ アザミウマ類	散布	収穫前日まで	2回以内
	5	スピノエース顆粒水和剤	アザミウマ類	散布	収穫前日まで	3回以内
	1B	ジェイエース水溶剤	ネギコガ アブラムシ類	散布	収穫7日前まで	2回以内
殺菌剤	24 M01	カスミンボルドー	春腐病	散布	収穫7日前まで	5回以内
	7	アフェットフロアブル	葉枯病 さび病	散布	収穫前日まで	3回以内
	11	アミスター20フロアブル	葉枯病 さび病	散布	収穫7日前まで	3回以内
	3	トリフミン水和剤	葉枯病	散布	収穫前日まで	3回以内
	3	モンガリット粒剤	黒腐菌核病	全面土壌混和	植付前	1回

○農薬使用の際は、ラベル表示(使用基準)だけでなく、購入後に変更された最新情報を確認してから使用しましょう。
○農薬の飛散防止に努めましょう。
○農薬の使用記録簿をつけるようにしましょう。



イチジクを手にする(左から)坂本君夫副会長、松井政信副会長、若山和一会長

イチジク出荷スタート

加須市騎西いちじく組合は8月上旬からイチジクの出荷を始めました。今年度の出荷者は21人。品種は「ドーフィン」で、加須ブランドに認定されています。

収穫したイチジクは、県内の市場や、騎西農産物直売所に出荷します。

同組合の若山和一組合長は「日照と天候にも恵まれ、順調に生育しました。全て検査してから出荷するので、自信をもっています。とても美味しいイチジクを是非召し上がってください」と話しています。

梨出荷スタート

加須市騎西梨撰果所利用組合が利用する撰果所で8月上旬から梨の選果が始まりました。

選果所では、パート従業員50人が生産者の指導を受けながら選別・箱詰め作業を行っており、8月上旬のピーク時には1日に約1,500箱(1箱5kg)を県内市場等に出荷します。

組合員は現在18人。「幸水」や「豊水」のほか、県のオリジナル品種「彩玉」など約8種で栽培しています。同組合の谷部芳夫組合長は「今年は入梅が遅く、空梅雨傾向で日照は十分。天候に恵まれ、美味しい梨に出来上がった。各JA農産物直売所でも販売するので是非手にとって味わってほしい」と話しています。



幸水を選果する森田幸雄さん

川里地区に女性部誕生



本年度の役員の方たち

後列左から 朝見香 監事、桑原輝美 部長
前列左から 大金範子 副部長、岡崎君江 会計、関根多恵 監事

JA女性部は7月5日、新たな支部として、JA川里中央支店管内に「川里支部」を設立しました。部員は16人。米、野菜、花き栽培等を営む農業者を中心に、幅広い年代層で、部員の交流と地域貢献を目指します。

初代支部長には桑原輝美さんが就任しました。

設立総会は加須市内で開き、女性部員やJA役職員ら約21人が出席。規約や令和6年度事業計画、役員選任など4議案が承認されました。初年度の活動は、イベントへの参加、地産地消の推進、高齢者福祉やミニデイサービスなどを計画しています。

桑原部長は「一人ではできないことも、仲間と協力すればできるかもしれない。笑顔あふれる川里らしい女性部にしていきたい」と抱負を述べました。

大利根地区で穂肥検討会開催

JAは7月2日、大利根営農経済センターで水稻の穂肥検討会を開き、米生産者25人が参加しました。

加須農林振興センター中野治担当部長他4人の技師の指導で、7色の葉色板に生産者が持参した稲の葉を合わせ、色の濃さから肥料の残り具合を判断する稲の葉色診断などを行い、穂肥の時期を確認しました。

参加した田村幹雄さんは「毎年、施肥量や散布時期を聞いて参考になっている。地域の水稻関係の情報交換もできるので今後も参加したい」と話しています。



技師から穂肥の指導を受ける田村さん(右)

当組合ホームページでは、ニュースストーリー(9頁~11頁)に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

山上げスタート

川里花き出荷協議会は6月下旬、花苗を日光市の戦場ヶ原の「避暑」に運ぶ「山上げ」をスタートさせました。

同協議会の小河原英和さんは家族と従業員10人で「プリムラ」や「ペゴニア」、「ランコエ」の3種類の花苗を20万ポット栽培しており、6月27日から7月上旬に「ランコエ」3万ポットを山上げします。

午前3時に出発し現地に着くのは午前6時。

荷下ろし後、苗並べと重労働が続きます。

英和さんは「花苗の状態を常に気にかけ、病気が出た場合は父と相談し速やかに農薬を決め施す。この時期は気が抜けない」と話し「丹精に育てた花を手にとって喜んでもらいたい」と汗を拭きました。



「ランコエ」を積み込む小河原さん(右)

スマート農業研修会開催



北埼玉スマート農業研究会は7月3日、行田市の行田グリーンアリーナと近隣ほ場で、最新技術のスマート農機具で農作業の省力化を学ぶ令和6年度第1回目の研修会を開きました。

同会員の他、JAほくさい管内組合員とJA、各市、加須農林振興センターの計61人が参加しました。

BASFジャパン(株)の「ザルビオ」や井関農機(株)の太陽光エネルギーを動力にGPSで自律航行し田の雑草を抑制する「アイガモロボ」、ヤンマーアグリ(株)の畦の除草を想定した「ラジコン草刈機」について学びました。

同会の新井健一会長は「同会では、これからも農業経営を安定させるための先進技術の紹介や情報を発信していく」と意気込みを語りました。

井関農機(株)社員から「アイガモロボ」の説明を受ける(前列左から)栗原寿美生副会長、新井会長、小野原新吉副会長

北川辺地区で可変施肥実演

加須農林振興センターは7月8日、加須市栄の(株)おおや農園のほ場40㍍で、出穂前の「コシヒカリ」の稲に、リモートセンシングデータに基づいた、ドローンで可変施肥散布する実演会を開きました。

北埼玉スマート農業研究会の会員の他、JAほくさい管内組合員とJA、加須市、加須農林振興センターの計26人が参加しました。

同農園の大谷寿男代表は「追肥は、生育状況を確認し適期に施肥しなければならないが、天候に左右されるので、時短、省力化が求められる。今回実証されれば、ほ場の拡大も視野に入れ導入を検討したい」と話しています。



オペレーターから説明を受ける大谷代表(中)



可変施肥するドローン



渡辺教育長に「ちゃぐりん」を手渡す大屋理事(右)

小学校に「ちゃぐりん」寄贈

JAは7月上旬に家の光協会の小学生向け月刊誌「ちゃぐりん」8月号をJAほくさい管内小学校48校に寄贈しました。

7月9日に行田市役所で「ちゃぐりん」の贈呈式を行い、行田地区の大屋寛地域担当理事が同市の渡辺充教育長に手渡しました。

同誌を受け取った渡辺教育長は、「農業について漫画やイラストでわかりやすく描かれているので、児童も毎年楽しみにしています」とお礼の言葉を述べました。

JAは、地域の将来を担う子どもたちに「食」と「農」に関心をもってもらうと毎年この時期に贈呈しています。



紙マルチを敷設しながら
田植えをする山田会長

紙マルチで雑草の成長抑制

羽生市の生産者でつくる羽生米クラブは6月12日、同市80㌦のほ場で紙マルチの敷設と移植を同時にできる田植え機で田植えを行いました。同クラブの会員は9人です。

同クラブは、生活クラブ生活協同組合の依頼で農薬を7割減や無農薬の米「はにゅう米」(品種=彩のきずな)を栽培し、JAに全量出荷後、生協の組合員に販売しています。

無農薬米の栽培で除草作業に苦慮していたため、今シーズンから紙マルチを使用し雑草の生長を抑制する農法を本格的に取り入れました。

紙マルチは段ボール古紙をロール状の再生紙にしたもので、敷設後、40日から50日で自然溶解します。

今回の田植えで使用した紙マルチは一卷き幅1.9㌦長さ170㌦で10㌦当たり約3.5本使用しました。

同クラブの山田和男会長は「消費者のニーズに応えるためこれからも、付加価値のある米作りに挑戦したい」と力を込めました。

イベント準備でサツマイモ定植

騎西農産物直売所利用組合は、6月10日加須市騎西地区のほ場約8㌦に、サツマイモの苗を500本定植しました。

品種は「ベニアズマ」と「べにはるか」。

同組合の役員と騎西農産物直売所の田口憲一店長が植え付けました。

今回のサツマイモは10月下旬に開催する地域の消費者に向けた収穫体験用です。

応募の受付は騎西農産物直売所で行います。

同組合の石川久雄組合長は「収穫体験は消費者と直接ふれあえる貴重な機会。イベントで騎西農産物直売所をPRしたい」と意気込みを語りました。



サツマイモ苗の定植を終えた
利用組合役員の皆さん

大利根中央支店職員が特殊詐欺防止

オレオレ詐欺を防止したとして、6月27日に加須警察署は大利根中央支店と同支店の高橋歩職員と臼井美智子職員に感謝状を贈呈しました。



左から田中署長、感謝状を手にする臼井職員と
高橋職員、羽鳥基幹支店長

6月19日に組合員の男性が窓口で大金を下ろそうとしていたので臼井職員が用途を確認したところ男性は「息子から電話があってお金を直接渡さなければならない」と話しました。詐欺を疑った高橋職員と臼井職員は羽鳥栄基幹支店長に相談し、男性を説得し振込みを事前に防止しました。

加須警察署田中聖人署長は「職員の的確な判断で、詐欺を未然に防げたことに感謝します」と感謝状を手渡しました。

大利根中央支店の羽鳥栄基幹支店長は「職員の気付きと連携により組合員の財産が守られてよかった」と話しています。

羽生市の小学校2校がトウモロコシ収穫体験 **JA共済の地域貢献活動**

JAは6月27日、7月2日の両日、羽生市の羽生南小学校と須影小学校2校の児童を招き、同市のほ場10㌦でトウモロコシ(品種=ゴールドラッシュ)の収穫体験を行いました。

JA共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、食農教育を目的にしています。

収穫を終えた児童は「お母さんに茹でてもらって早く食べたい」と笑顔で話していました。

JA営農支援課渡辺昌美課長は「地域の子ども達に採りたてのトウモロコシの味を知ってもらいたかった。これを機に農業に興味を持ってもらえれば」と話していました。



トウモロコシを収穫する児童

当組合ホームページでは、ニュースストーリー(9頁~11頁)に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

はにゆう通信

各地区の編集委員が自慢の人・モノ・場所をご紹介します。

今回は**羽生地区**です。



野口啓子さんの「けいこキッチン」



いがまんじゅうを手にする野口さん



いがまんじゅう

野口啓子さんが営む「けいこキッチン」は、「いがまんじゅう」などの手作りお菓子をJA羽生農産物直売所で販売しています。

羽生市稲子在住の野口さんは、学生時代砲丸投げで全国6位（埼玉県1位）になったこともあるスポーツウーマンで、同市の体育指導員を30年務めました。現在は、農業委員などの役を引き受け頑張っています。

自分の夢を考える機会があり、野口さんは「おばあちゃんとお母さんの手作りのお菓子の味を引き継ぎたい。販売してみんなに喜んでもらえたらいいな」と思うようになりました。思い立ったら持ち前のガッツで色々調べ、加工に必要な許可を取得し4年前に「けいこキッチン」を立ち上げました。自慢の「いがまんじゅう」は、羽生市産のもち米と胡麻を使用し地産地消を心掛けており、餡はこし餡で、3時間かけて作ります。

同直売所の増田和正店長は「レジ横に野口さんのお菓子を置いておくとう午前中には売り切れます。集客にも繋がり助かっています」と話しています。

【主な商品と販売時期は以下の通り】

旬にこだわって販売します！

(木・金) いがまんじゅう (土・日) 大福・あげもち
春=草餅 秋=アップルパイ、栗おこわ、塩あんびん

※7、8月と年末年始は販売をお休みします。



俳句

団塊の世代が頼り盆踊り

折原 野歩 留 選

大利根 野口 勇一

(評) 少子高齢化が叫ばれて久しい。コロナ禍もあって盆踊りを中止したところもあると聞く。団塊の世代と言えば七十歳を過ぎた人達である。かつて村興しに携わった私も経験があるが、決して楽な事ではない。しかし、この人達が頑張らなければ何人も始まらない。人生百年時代、老人力に頼る地域の期待は大きい。

止まるを知らぬ孫の背二重虹
人類は戦の歴史大夕焼け
亡き父の手帳頼りに盆支度
逃げ水を追いかけてもう戻れない
流暢な早口言葉ほととぎす
生きたとは明日の髪を洗ふこと
五月雨をここに留めて花手水
雷鳴が気合となりぬ屋根職人
遠富士の見える耕地の田植えかな
悪癖の一と口残し走り徴
川風の攫ってゆきし草いきれ
茄子の花一つの無駄のない生涯
雨上がり待ちて総出の藻刈かな
あやめ園玉砂利の音静かなり
やうやくに親の後ゆく巢立ち鳥
まんまるの尻定まらぬ西瓜かな
早乙女や今は田植え機ジーパンで
知らぬ間にわが腕かつぽ蟻迷う
紫陽花に季節を運ぶ風ありぬ
夕焼けやギブス取る跡そつと押す
初燕今年も会えたね広い空
よりそって夕日をながめ芝桜

※10月号への投句は、8月26日(必着)までに、
〒348-8513 JAほくさい営農支援課(住所不要)
宛てにお願いします。

応募資格はJAほくさい管内にお住いの方。誌面等の都合により投句いただいたすべての方の句を掲載することはできませんので、あらかじめご了承ください。

相続対策は仕事と生活の見直しから



JAほくさい顧問税理士
西田 芳秋 氏

質問

団塊の世代の私たち夫婦は金婚式を迎えました。親子でこれからの生き方を話し合っています。夫婦の老後の過ごし方、家業と祭祀を誰に託すか、各相続人に何を相続させるかなど疑問が尽きません。これから相続のために何をしておくべきですか。

回答

均分相続に備える

「個人の尊厳」「男女の平等」が謳われて77年。日本の社会は相変わらず家を中心に物事が考えられてきました。家と家の固い絆が集落の営農を支え、家業

と生活を守ってきたことから、均分相続になっても家制度を否定できないでいる。一方で、働き方改革と相まって次世代は家を離れて自由に地球を駆けめぐ

る。赴くところに居を構え、実家はやがて空家になる。親の相続で家を守る大義が示されなければ、子どもたちは均分相続を選択するでしょう。

収益性がなければ

土地神話が崩れて久しいが、土地は財産でないことがよく分った。土地を守るために負担した費用の大きさも経験してきた。固定資産税と都市計画税、次の相続までの相続税の保有コストは年にして2・8%になる。

次の相続まで30年とすると遊休地は、84%目減りする勘定になる。50000万円の土地なら毎年3000万円の賃料収入が必要になる。遊休資産の相続税を払うために優良物件を処分しないことが大切です。家産としての

事業用資産は収益性と換金性が無ければ承継してくれないかもしれない。

承継される家産を

これからは固定資産税や相続税の負担が大きい広大な屋敷は、200㎡(80坪)の敷地に30坪の平屋建てが丁度いい。固定資産税は200㎡まで6分の1、相続税は330㎡まで5分の1課税の特例がある。次世代は経済性があつて機能性の高い生活用財産を求めています。

配偶者の老後を準備する

高齢社会を想定した税制によつて、消費税が所得税や法人税を抜いて収収のトップになった。社会福祉のために毎年23兆円もの安定した財源が確保されています。それでも、国民にはいま以上の自助努力が求められるでしょう。人生100年時代を生き抜くためには安定した収

入が必要。公的年金のほか個人年金や配当収入など。いざという時に死亡共済金が出る。と次の準備ができます。

相続が始まると

まずは、地域の慣習や風習、家風にしたがつて葬儀を執り行います。相続が始まると遺産は相続人の共有になるので、以後の異動には全員合意が必要です。当面の地代や家賃の受取りと借入金返済口座を開設します。期限のある税金や公共料金のほか当座の支払を優先します。遺言書が発見されたら裁判所の検認を受け、遺言執行者は遺産に係る財産目録を作成して相続人へ交付します。各相続人は相続の開始を知った時から3ヶ月以内に自らの判断で相続を放棄することができ、相続手続は音信不通の相続人を探すことから始めます。遺言執行者は遺言を執行します。遺言がなくても相続人全員の協議が整えば、遺産を分割取得することができます。相続税を申告納税すべき者は、相続の開始を知った日の翌日から10ヶ月以内に申告書を提出し納税しなければなりません。

申告期限までに分割協議が整わない場合は各相続人が法定相

続分によつて遺産を取得したものととして期限内に申告納税しなければなりません。この申告では各種特例の適用は受けられません。

相続対策とは

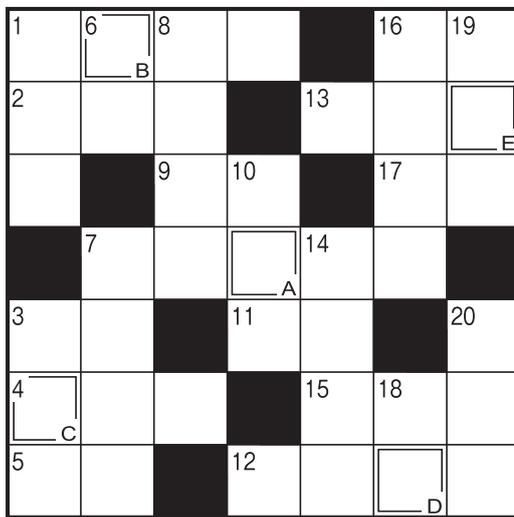
このように相続と相続税は法律ですから、決められた期間内に必要な手続きを取る必要があります。相続対策は円満で確かな相続を実現するための条件づくりです。相続人の権利と義務を明確にすること、均分相続に備えた財産の組み替えをすること。相続税を申告期限内に完納するための準備をすること、承継される家産をつくることなどに今から取組んでいくことになります。

不確実性の中の相続対策

賃借人の加齢、孤独死、被後見人を予知して、使用貸借への変更など賃貸借契約の見直し、建物へ死因贈与の仮登記を申請するなど、保全措置を講ずることが望まれます。次世代は、家や家業ではなく、自らの生活設計に必要なものは何かを優先しています。確かな相続のために、賢い暮らし方、次世代へ残すべき遺産を整えておくことにします。



文字を並べ、何言葉でしょうか？
A～Eの順にマスの順番でマスの順番で



(出題) ニコリ

- ヨコのカギ
- トマトやスイカに含まれる赤い色素
 - 海で水上——を楽しんだ
 - 独特の香りから香魚とも書く川魚
 - 無駄遣いをする事
 - セーラー服のものは大きめ
 - 孫悟空の乗り物です
 - 酒などを入れる四角い容器
 - ザーザー、しとしとと降ります
 - 夏にはくズボン下
 - アップの反対語。イメージ——
 - パンダの遊具にも使われるゴム製品
 - 小さな船を数えるときに使う言葉
 - MB——バイト、GB——ギガバイト

- タテのカギ
- 文系より——系の教科の方が好きです
 - 医者いらずと呼ばれることもある植物
 - 数え年70歳の祝い
 - 精霊馬に使われる野菜の1つ
 - 肉詰めにするのも定番の夏野菜
 - コンビニエンス——、チェーン——
 - 関西国際空港や中部国際空港は、——地に造られています
 - 夏場によく食べられる麺
 - 座は蠨(さそり)座と山羊(やぎ)座の間にあります
 - パナマやスエズのものがある有名エビに見た目が似ているすしネタ



〈7月号の答〉
サルスベリ

・締切は令和6年8月末日到着分まで。
・正解者には抽選により賞品をお贈りします。
・(個人情報)の取り扱い…この応募用紙は抽選と商品発送およびご意見掲載の目的以外には使用いたしません

〈応募の方法〉

・ハガキに答え、住所、氏名、年令、電話番号を記入のうえ、〒348-8513 JAほくさい宮農支援課宛送付(住所の記入は不要です)、または各支店・宮農経済センター窓口へお持ちください。ご応募はJAほくさい管内(行田市・鴻巣市川里地区・羽生市・加須市)にお住まいの方に限らせていただきます。
・応募の際、ご意見、本誌へのご感想などをお書き添えください。中から「ほくさい」に掲載させていただくこともあります。

「当選者発表」

☆6月号クロスワードパズルの当選者は次の8名です。記念品をお贈りいたします。

- ☆高沢 年次さま (行田)
- ☆島田とし子さま (川里)
- ☆間仁田陽子さま (羽生)
- ☆関根 君子さま (羽生)
- ☆田口 悦子さま (加須)
- ☆野上 玉枝さま (騎西)
- ☆中鉢 ミヨさま (北川辺)
- ☆吉田 正さま (大利根)

編集後記

暑い日々が続いています。早い地域ですと水稻収穫等が全盛期になっています。
まだまだ暑い日が続くと思われるので、こまめな水分補給・塩分補給・休憩をし、又農機具による事故にも気を付けて作業し無事に収穫を終えれば幸いです。

T・K

キャンペーン期間

令和6年 6/1(土)

令和6年 11/30(土)



ご紹介した方も、
ご紹介された方も、
うれしいプレゼント。

むさしの村歌謡ショー
無料招待実施中
令和6年12月上旬

年金お友達紹介 キャンペーン

期間中、お友達をご紹介いただき、JAほくさいに年金受取口座を新たにご指定いただいた場合、ペア(ご紹介者・被ご紹介者)でむさしの村歌謡ショーにご参加いただけます。(任意)

※新型コロナウイルス感染状況により中止になる場合がございます。

このような方をご紹介してください！

- 59歳以上の方で、今後6か月以内に年金受取手続きを「JAほくさい」へご指定いただける方。
- すでに他金融機関で年金をお受取りされている方で「JAほくさい」へ受取りを変更していただける方。
- 当JAに対し、被ご紹介者の個人情報の提供に同意されている方。

対象の年金種類 国民年金・厚生年金・共済年金・各種年金

ご紹介者、被ご紹介者それぞれにプレゼント!!

記念品プレゼント!!

ご紹介いただいた方(被ご紹介者)がJAほくさいに年金手続きをされますと、ご紹介者の方、被ご紹介者どちらの方にもプレゼントいたします。プレゼントは被ご紹介者の方の年金手続き確認後とさせていただきます。

先着
300名様



年金お友達ご紹介カード

ご紹介の際は、このカードを担当者にお渡しいただくか、JA窓口へご提出ください。

※ご紹介いただいた方へ、当JAから後日ご連絡させていただきますのでよろしくお願ひします。

※ご記入いただきましたお客様の個人情報は、年金受取手続きのご案内とプレゼントのお届けのみに利用いたします。

ご記入日

令和 年 月 日

■ご紹介者(右記の方をご紹介します)

あなた様のお名前	
ご住所	〒
お電話	
歌謡ショー	<input type="checkbox"/> 参加します <input type="checkbox"/> 参加しません

■ご紹介いただける方(被ご紹介者)

お名前	
ご住所	〒
お電話	
歌謡ショー	<input type="checkbox"/> 参加します <input type="checkbox"/> 参加しません



JAほくさい

※詳しくは、店頭又はJAほくさいホームページをご覧ください。

<https://jahokusai.jp/>

JAほくさい

検索

JAほくさい
ホームページ



JAほくさい 8月号(No338) 2024年8月1日発行

編集・発行／ほくさい農業協同組合 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3

TEL 048-561-6911(代) URL(アドレス) <https://jahokusai.jp/>

